

< 授 業 記 録 >

教師の発問・生徒の反応

学習の様子

1 「魔王」を聴き、本時のめあてをつかむ。(14:10)

T: 前は「魔王」を初めて聴いて、感想を書いてもらいました。  
(テキストマイニングで集約した結果をモニターに表示)

何が大きく表示されている?

S: 恐ろしい S: あせる S: 追いかける

T: 「魔王」のどの役割のときにそう感じたのか、もう一回聴いてみましょう。(曲を流す)

T: 恐ろしいっていうのはどの役割のとき?

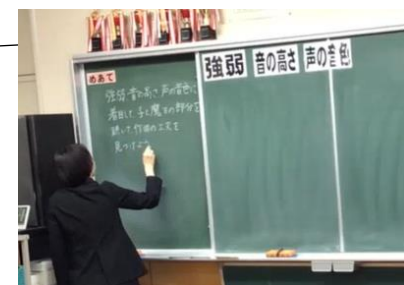
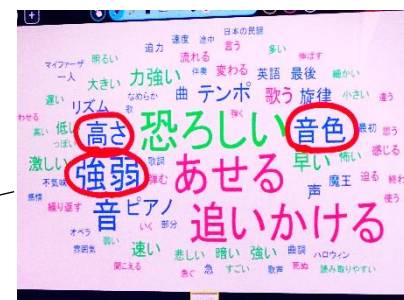
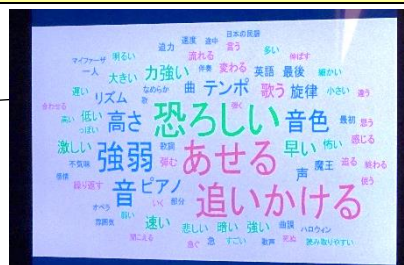
S: 魔王!

T: あせるは?

S: 子供だと思ふ。

T: 魔王と子の部分を聴いていくと、シューベルトの作曲の工夫が分かりそうですね。

T: みんなが書いてくれた言葉の中に、「強弱」「高さ」「音色」があります。この三つに着目して聴いていくと、シューベルトの作曲の工夫を探ることができそうですね。では、今日のめあては・・・  
(三つの要素を黒板に掲示し、めあてを書いていく)



<めあて>

強弱、音の高さ、声の音色に着目して、子と魔王の部分を聴いて、作曲者の工夫を見つけよう。

2 子の旋律を聴き、音楽を形づくっている要素の働きを捉える。

(14:20)

T: 子の部分を聴いていきます。魔王の部分と比較してどんな雰囲気なのかを考えながら聴いてみましょう。

(子の部分だけ抜粋して曲を聴く)

T: どんな雰囲気だったかをグループで話してみよう。

S1: 魔王のほうが優しい感じかな。

S2: 子は怖がっている感じがする。

T: 「強弱」「音の高さ」「声の音色」はずっと同じなのかな?

(首を横に振る生徒)

(もう一度曲を流し、グループで話す)

S1: 最後の方につれてだんだん強くなっている感じだね。

S2: うん。分かる、分かる!

S3: 最初はおびえているけど、最後はすごく焦っている感じもする。

(再度、子の部分を流し、全体共有する)

T: グループでどんな話が出ましたか?

S: 最後のほうにつれて音が強くなっている。

T: 強弱のことですね。他にはありますか?

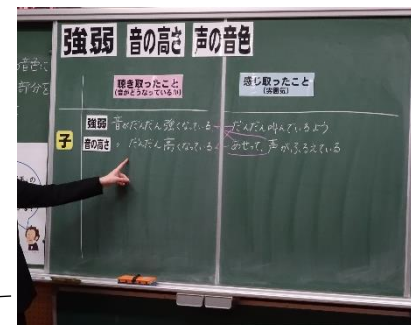
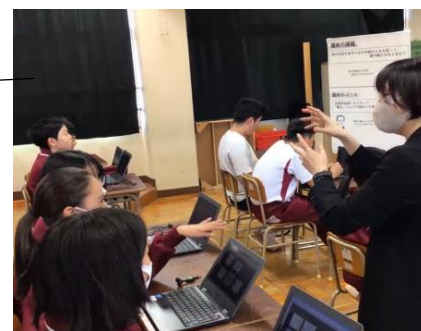
S: だんだん焦っている。 S: 大きくなる時、声が高くなった。

T: 楽譜を見ながら確かめてみましょう。(楽譜を提示し、曲を聴く)

S: 音符がだんだん高くなっている!

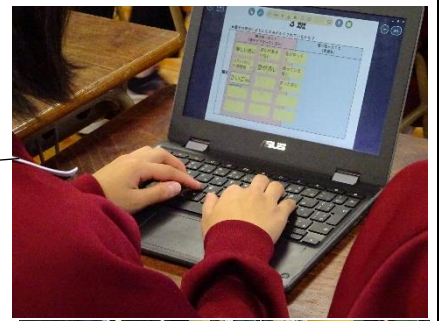
T: 音を高くすると、子供のどんな気持ちが出せますか?

S: 焦ったり、おびえたりしている雰囲気。



**3 グループで魔王の旋律を聴き、知覚したことと感受したこととの関わりについて交流する。(14:30)**

T: 今から魔王の部分の3回流すので、「こんな雰囲気がある」とか「こんな音がした」などを黄色のカードに書いてきましょう。  
(曲を聴きながら、端末上のシートに個人で記入する)



T: グループになり、「聴き取ったこと」と「感じ取ったこと」に分類して、関連するカードを線で結んでみましょう。

- S 1: 「音がゆっくり」なのは何と関係しているかな。
- S 2: 「誘っている感じ」と「優しい感じ」とで結ぼう。
- S 3: 「流れるようなリズム」は「ふわふわした感じ」と結べるかな。
- S 1: 最後だけ強くなっているとこもあったね。

(グループでまとめたシートを提出し、クラス全体で共有する)



T: 6班のシートを見てみましょう。  
(モニターにシートを映す)

T: (シートを指し示しながら) この部分を言ってくれる?

S: 最後急に強くなった。

T: 急に強くなるとどんな感じがした?

S: 最後怖くなった感じがした。

T: なんで怖くなったか、そこの歌詞を見てみましょう。

S: 「じたばたしても、さらってくぞ」って書いてある。

T: 魔王の気持ちを表現するために、シューベルトは強くしたのかもしれないね。声の音色についてはどうですか?

(もう一度魔王の最後の部分を聴いて確かめる)

S: 声の音色はとがった感じがする。

T: 最初やわらかい感じから、とがった感じになると・・・

優しかった魔王が本性を出している感じに結び付きますね。

(板書でまとめる)

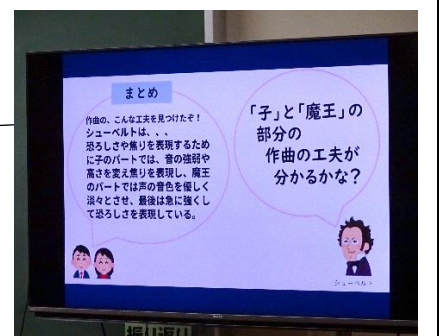
T: 子と魔王で比較しても違うし、気持ちの変化とともに音楽が工夫されていることも分かりましたね。



強弱		音の高さ	声の音色
聴き取ったこと (音がとがっている)	感じ取ったこと (怖さ)		
子 強弱 音の高低 強くなると弱くなる 音の高さ だんだん高くなる	魔王 強弱 最初は弱く最後強くなる 声の音色 やわらかい→とがった	音の高さ だんだん高くなる 声の音色 声が高くなる	感じ取ったこと 怖さ

**4 本時のまとめを確認し、学習内容の振り返りをする(14:50)**

T: めあてをもう一度確認してみましょう。  
「こんな工夫をしている」について、「魔王」「子」「強弱」「音色」「音の高さ」「声の音色」などの言葉を入れてまとめを書いてみましょう。  
(曲を聴きながら端末上のシートにまとめを記入する)



<まとめ> 作曲者のこんな工夫を見つけたぞ!  
シューベルトは、恐ろしさや焦りを表現するために、子のパートでは音の強弱や高さを変えて焦りを表現し、魔王のパートでは声の音色を優しく淡々とさせ、最後は急に強くして恐ろしさを表現している。

T: 視点を明らかにして聴くと、作曲者の工夫に迫ることができて、1時間目よりもより深く聴くことができましたね。

<生徒の振り返り>  
いろいろな要素をよく聴いて、魔王の作曲者シューベルトの工夫をたくさん見付けることができた。何回も聴いて、よく深められた。前よりも曲のよさに気付くことができた。

(※見付けた工夫や気付いた曲のよさについて、<まとめ>と対応させて振り返るよう助言し、知覚した音楽を形づくっている要素と感受したこととの関わりについて再確認した)